

令和5年度 北日野小学校 スクールプラン

学校教育目標

笑顔で生き生きと活動する北日野っ子の育成

目指す教職員像

- 明るく前向きに児童と共に学び続ける
- 児童一人一人を尊重し大切にす
- 共に考え協働する
- 真心を持って接し誰からも信頼される

保護者の願い
地域の願い

めざす児童像

よく考える子 仲良く助け合う子 進んで実行する子 健康でたくましい子
～笑顔で登校 満足顔で下校～

重点目標

確かな学力
～よく考える子～

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点にもとづく授業研究(特に算数)を核とした授業改善を図る。
- ・日頃の様子だけでなく客観的な資料を基に、学びの実態を把握し、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ・読書の習慣を育成する。

豊かな心
～仲良く助け合い、実行する子～

- ・互いに認め合い、感謝と思いやりの心を育てる。
- ・自他の生命や人権尊重の心を育て、いじめの起きない学校を目指す。
- ・児童がやりがいを感じ、自己肯定感が得られるような活動を設定する。

健やかな体
～健康でたくましい子～

- ・基本的な生活習慣の定着を促し、自らの健康管理ができる力を育て、明るく元気で健康な心と身体を育てる。
- ・業間活動など体育活動を重視した教育を推進し、最後までやり遂げる心と体を育てる。
- ・命の教育を充実する。

信頼される学校

- ・家庭・地域と連携し、開かれた学校づくりに努め、ふるさと教育を推進する。
- ・保・幼・小・中の連携の推進や、関係機関との積極的な連携協力を図る。
- ・積極的に情報発信を行う。

具体的取組

- ①特に算数ではデジタル教科書を有効活用し、学習意欲が継続し、主体的に学びを深める授業を追究するための参観授業を各教員が1回以上実施して、授業力を高める。
- ②授業のユニバーサルデザイン化を推進し、基本的な学習態度と学習ルールの定着を図る。
- ③読書環境を充実させ、家庭とも連携を図りながらインターネット利用の時間を抑えて、読書活動を推進する。

- ①ポジティブ教育を年間計画に位置付け、エンカウンター等の活動も行い、それらを通して、互いに認め合う態度・感謝と思いやりの心を育てる。
- ②教職員全員で全校児童を育てる意識を持ち、情報の協力的に収集・共有して、家庭の協力も得ながら、チームによる対応を行い不登校ゼロ
- ③児童が主体的に、また、意欲的に関わるように、計画から運営まで児童主体の活動を設定し、自己肯定感を高める。

- ①定期的に「すこやかしらべ」を活用し「早寝・早起き・朝ごはん」を推進する。家庭と連携した食育の充実を図り、朝食の喫食率100%を目指す。
- ②運動の質と量の確保に努めた体育の授業を推進する。また、業間運動や放課後の体育活動の充実を図る。
- ③道徳、特別活動を中心とした教育課程全体で命の大切さを伝え、SOSの出し方教育の充実を併せて図り、自他の生命を尊重する態度を養う。

- ①地域の人材や環境を活用して、地域の魅力に気づき、理解を深めて地域の特性を活かした教育活動の充実に努める。
- ②各校種間で授業参観や情報交換会、小中連携会議などを実施し、連携した指導・育成を行う。
- ③各種たより・ホームページ・授業公開・学校行事等を通し、学校の情報を積極的に発信するとともに、家庭や地域の情報も収集する。

数値目標

- ・学習のルールを守って、主体的に意欲的に授業に取り組んでいる児童が95%以上
- ・授業力が高まったと自他ともに認める教員が100%

- ・自分や友達を、大切にしている児童が、95%以上
- ・学年目標冊数を目指して、いろんな本を読んでいる児童が80%以上

- ・体育の時間や体育的行事に、めあてをもって取り組む児童が95%以上
- ・早寝・早起きを実践し、朝ご飯を食べてきている児童が95%以上

- ・地域に愛着を感じ、ふるさと学習にしっかり取り組んだ児童が95%以上
- ・知りたい情報が得られて、満足している家庭が95%以上

<業務改善のための取組> ・水曜日を「ノー残業デー」とし、定時完全退勤とする。 ・タイムマネジメントの能力の向上を図る。 ・時短よりも働きやすさに主眼を置く。